

2015 阿南市 10大 ニュース

小学6年生が模擬議会を体験 暮らしやすいまちづくりについて考える



8月3日

合併10年を記念して、市内の小学生23人による「子ども議会」が開催されました。子どもたちが議長や議員になって質問に立ち、岩浅市長や新居教育長など市の執行部が答弁。模擬議会を通じて市政や議会の仕組みを学ぶとともに、暮らしやすいまちづくりについて考えました。

屋内多目的施設が完成 愛称は「あななんアリーナ」に決定



7月19日

県南部健康運動公園（桑野町）内に建設を進めてきた屋内多目的施設が完成し、公募により施設の愛称は「あななんアリーナ」に決定しました。施設は、人工芝のグラウンドのほか、投球練習場や会議室も備えており、災害時には物資集積場として利用されます。

地方創生元年となった今年。本市でも新庁舎高層部での業務開始やあななんアリーナの完成など、新しい時代の幕開けを告げる出来事が多い年でした。去る11月11日、「2015年阿南市10大ニュース」の選考会が行われ、次の10項目を選定しました。市民の皆さまには、どのような年になったのでしょうか。さて、今年も残すところ1カ月。皆さまにとって、新しく迎える年が輝かしい年でありませう、心からご祈念申し上げます。

阿南市がドラマの舞台に 「さすらい署長 風間昭平」撮影



9月12日～20日

テレビドラマ「さすらい署長 風間昭平」の舞台に阿南市が選ばれ、主役の北大路欣也さんをはじめとする出演者やスタッフが中林海岸など市内各所を訪れて、撮影が行われました。また市民の皆さんもエキストラとしてたくさん出演しました。

阿南市初！ サテライトオフィスがオープン



9月7日

阿南市では初のサテライトオフィス(株)Hanoi Advanced Lab (HAL) (本社:東京都渋谷区)が吉井町の空き民家にオープンしました。HALはIT企業で、地域とつながり、都市に発信していくことも期待されています。開設には「加茂谷元気なまちづくり会」が尽力されました。

阿南市配偶者暴力相談支援センター 「ぱあとなー あなん」を開設



4月1日

DV被害者に対する支援体制を強化するため、阿南市配偶者暴力相談支援センター「ぱあとなー あなん」を市役所内に開設しました。きめ細やかな対応の実現めざるとともに鳴門市との協力協定を締結。県全体に支援の輪を広げていけるよう努力します。

新庁舎高層部が完成し、 市役所旧本庁舎に別れ



2月23日

2013年から建設を進めてきた新庁舎高層部が完成し、業務を開始しました。また49年間、市の歴史とともに歩んできた市役所旧本庁舎は解体され、低層部本体基礎工事を着工しました。基礎部には液状化対策（静的締固め砂杭による地盤改良）が施されています。

「かも道」の一部が国史跡に追加指定



10月7日

遍路道を世界遺産にしようとする取組が始まっている中、一宿寺から太龍寺までの旧遍路道である「かも道」全長4.4kmのうち、1.34kmが国史跡に追加指定されました。現在阿南市の国史跡距離数は約6.5kmとなり、四国全体でも最長の距離です。

地方創生元年！ 未来創造への第一歩を踏み出す



10月20日

「地方創生元年」と称される2015年、本市では移住定住施策を促進するとともに、10月には「あなん未来会議」を立ち上げ、新しいまちづくりへの議論をスタート。地域活性化の重点施策をまとめた総合戦略の策定など、地方創生に向けた取組を加速させています。

日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結



10月1日

四国で初めて学校法人日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。この協定は、市民の健康づくりや学校体育・子どもたちへのスポーツ支援などで双方が持つ教育資源を活用し、体育・スポーツ振興や社会貢献を図るための協定です。

移住交流推進事業が 本格的に始動



10月16日

移住・交流人口の増加による地域の活性化を図るため、移住交流支援センターを設置。また、「全国移住ナビ」内に阿南市移住PR動画を掲載し、400近くの自治体のPR動画の中から、本市の動画が第2席となる総務大臣表彰「地域情報満載賞」を受賞しました。